

ふくい

舞鶴市立福井小学校
令和6年2月29日発行
(本年度13号)



児童会

学校を笑顔でうめつくそう。

6年生を送る会 ～ 3月

実に4年ぶりとなる、フルバージョンの「6年生を送る会」でしたが、たくさんの保護者や地域の方々にご来校いただき実施することができました。体調不良により参加できなかった子もいましたが、どの学年も、6年生の卒業を祝って一生懸命練習してきた成果を発揮し活躍する姿を見ていただけたのではないのでしょうか。今年の送る会のテーマは「6年生を笑顔で送ろう大作戦」でした。今まで学校のために色々と頑張ってきた6年生に、各学年が工夫を凝らしながら感謝の気持ちがこもった演技や演奏をプレゼントし、素敵な「6年生を送る会」となりました。作戦は大成功です。



たんぼぼ学級の「おむすびころりん」は昔話を楽しくアレンジした劇を発表しました。少ない人数ですが、チームワークよく役割を果たして頑張りました。1年生の「くじらぐものぼうけん」では、国語の教材をさらにバージョンアップ。くじらぐものその後…を劇にしました。初めての送る会でしたが、お世話になった6年生に懐かしさも伝えることができました。2年生の「かさじぞう」は可愛いちびっこ地蔵が登場し、優しいおじいさんとおばあさんの心を6年生に届けました。3年生の「おしゃべりなめだまやき」では6年生の思い出をリバイバル。「福井小学校を忘れないで」と楽しい歌とダンスで、感謝の気持ちを伝えました。4年生の「2024 福井っ子万博」では、6年生に楽しんでもらおうと、一人一人が個性全開で頑張りました。次々に工夫した場面が現れ、見応えがありました。5年生の「6年生送る隊・全力応援」では、運動会を思い出す力強い応援と迫力のアフリカンシンフォニーの演奏で、6年生の中学校での活躍を応援しました。また、5年生は次期最高学年として、実行委員の中心になってたくさんの役割を担い活躍しました。毎日の各教科学習と並行して準備や発表の練習をするのは、大変だったことでしょう。それでも「6年生を送る会」を成功させるために、学年が一丸となって準備を進め、会を運営することができたのは、来年度の福井小学校のリーダーとしての自覚の表れだと感じました。そして、6年生は「キミとボクとの…」。小学校生活で学んだ大切な事を、様々な場面にし、一人一人が自分の成長と重ね、メッセージを込めながら披露しました。

保護者の皆様には、久しぶりに色々な学年の子ども達が活躍する姿を見ていただけたのではないかと思います。寒い半日でしたが、ご参観いただきありがとうございます。ごさいます。

「6年生を送る会」は、最高学年として学校をリードしてくれた6年生に感謝の気持ちを伝え、これからの未来を応援する行事です。それと同時に、各学年の発達段階に応じて成長した姿を発表する機会でもあります。歌や演奏の練習はもちろん、セリフを覚えたり、動きを工夫したり、自分達らしい表現にアレンジしたり、大道具や小道具を作ったり…大人が手を出せば簡単にできる事でも、子ども達が試行錯誤して自分達で作り上げる力は、その苦労を経験しないと育ちません。自分の苦手が克服できた子。緊張に打ち勝って大きな声が出せた子。仲間と協力し励まし合って頑張る事ができた子。一人一人の成長に加え、学級集団としての成長も感じられました。送る会に向けて取組を進め、本番で緊張しながらしっかりとやり切った姿は、まさに成長の証と言えるでしょう。

3月に入り残された授業日数は15日間です。この短い期間で、6年生は中学校へ向けて力強く助走しなければなりません。他の学年も、次の学年へ向けてジャンプアップする力を蓄えます。1年間の振り返りをしっかりと、来年度を見据えた締めくくりができるよう頑張ります。

保護者・地域の皆様方には、本校の教育活動に変わらぬご理解とご協力をお願いいたします。

校長 波多野 暢 教職員一同